

**問2 あなたは、毎日の生活の中で男性が家事（炊事・洗濯・掃除）・育児などをする
ことについて、どう思いますか。（1つに○）**

男性が家事・育児をすることについては、「できるだけ家事・育児をするほうがよい」の割合が最も高く 54.5%となっており、次いで「積極的に家事・育児をすべきだ」の割合が 24.5%となっています。

また、平成13年度調査結果と比較すると、大きな差異はみられません。

性別でみると、男性に比べ女性で「積極的に家事・育児をすべきだ」の割合が高くなっています。

性・年代別でみると、女性で年齢が高くなるにつれて「積極的に家事・育児をすべきだ」の割合が低くなる傾向があります。また、男性の30歳代で「積極的に家事・育児をすべきだ」の割合が高くなっています。

図 男性が家事・育児をすること

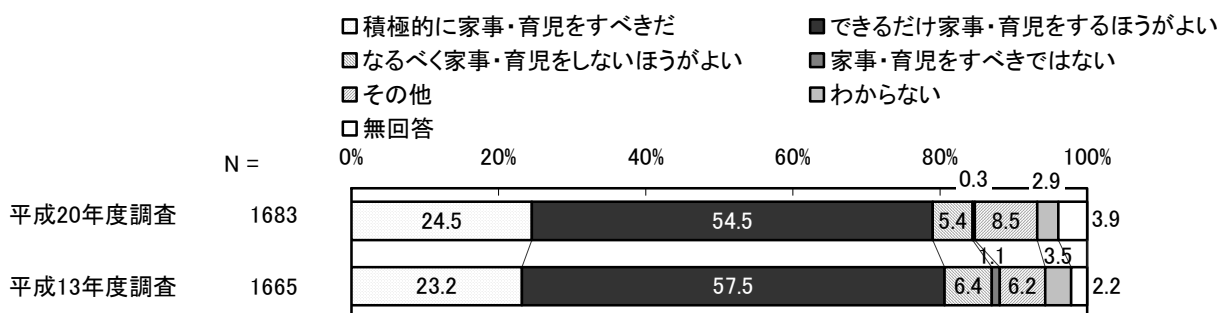


図 性別でみる男性が家事・育児をすること

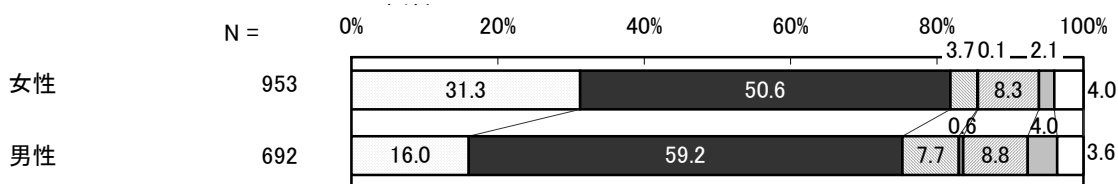
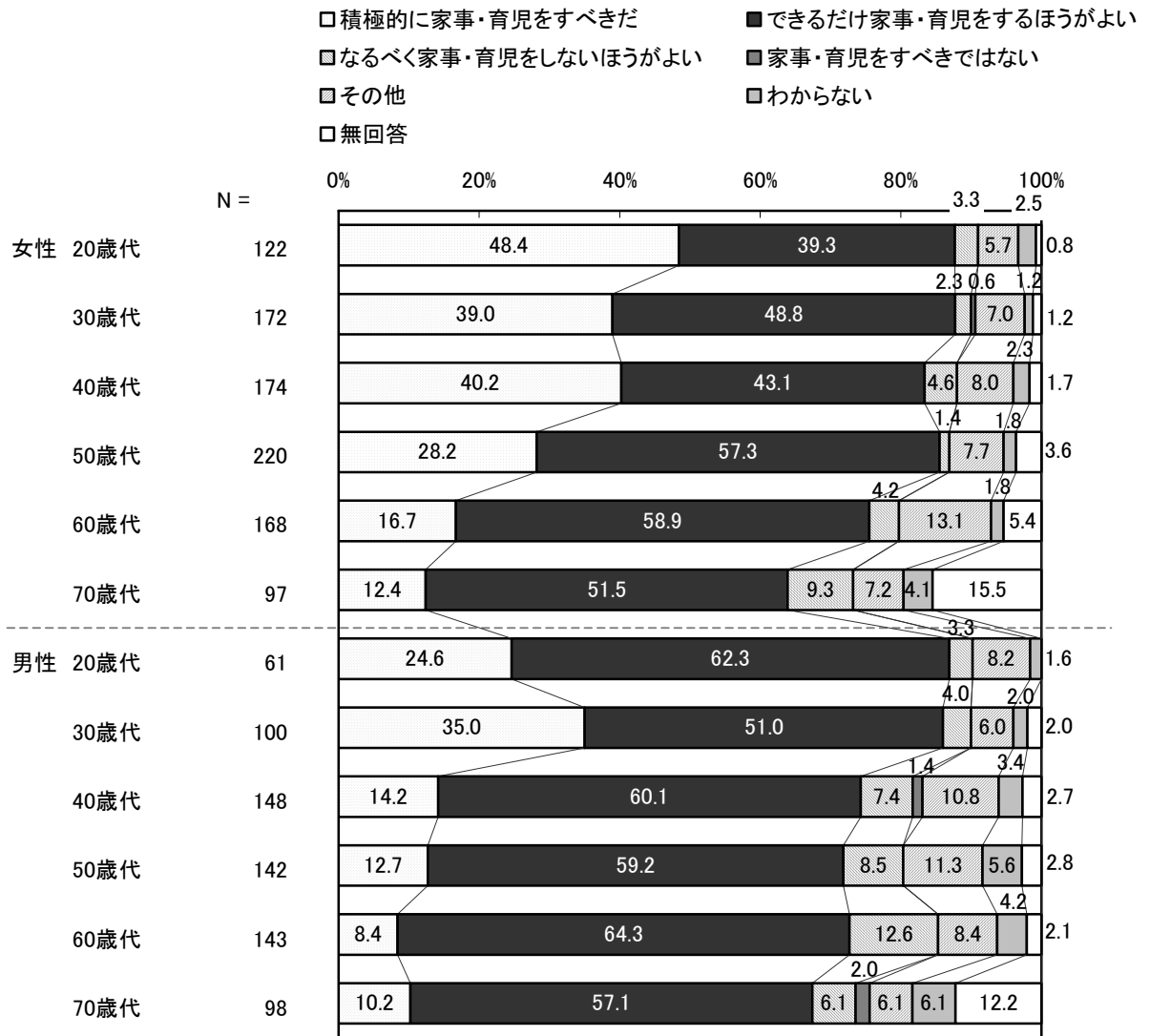


図 性・年代別でみる男性が家事・育児をすること



**問3 あなたは、子どもをどのように育てたらよいとお考えですか。
お子さんがおられない方も、一般的なご意見で結構です。(1つに○)**

子どもの育て方については、「男の子らしく女の子らしくというより、一人ひとりの個性を尊重して育てたほうがよい」の割合が最も高く 54.8%となっており、次いで「ある程度は、男の子は男の子らしく、女の子は女の子らしく育てたほうがよい」の割合が 28.3%、「男の子は男の子らしく、女の子は女の子らしく育てたほうがよい」の割合が 12.5%となっています。

また、平成13年度調査結果と比較すると、「男の子らしく女の子らしくというより、一人ひとりの個性を尊重して育てたほうがよい」の割合が高く、「ある程度は、男の子は男の子らしく、女の子は女の子らしく育てたほうがよい」の割合が低くなっています。

性別で見ると、男性に比べ女性で「男の子らしく女の子らしくというより、一人ひとりの個性を尊重して育てたほうがよい」の割合が高くなっています。また、女性に比べ男性で「男の子は男の子らしく、女の子は女の子らしく育てたほうがよい」の割合が高くなっています。

性・年代別で見ると、女性の70歳代で「男の子らしく女の子らしくというより、一人ひとりの個性を尊重して育てたほうがよい」の割合が低くなっています。

図 子どもの育て方

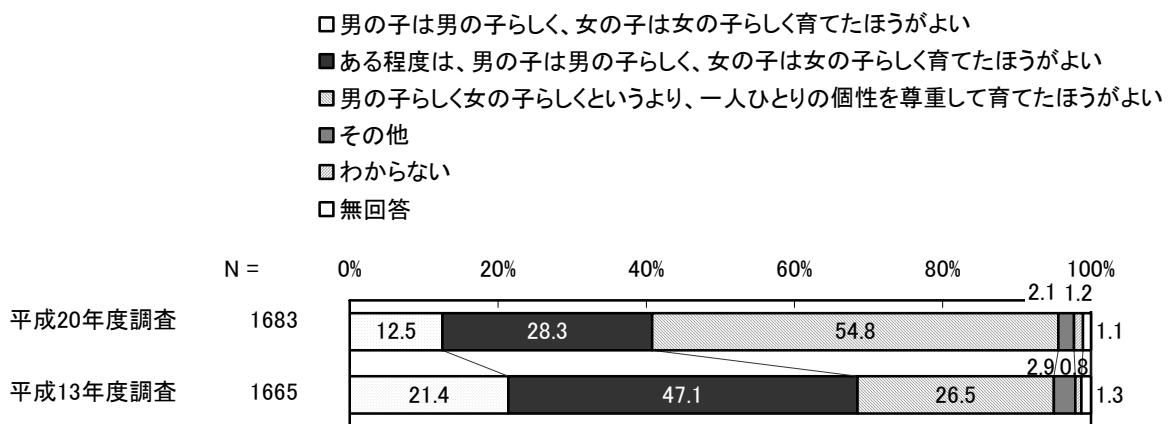


図 性別でみる子どもの育て方

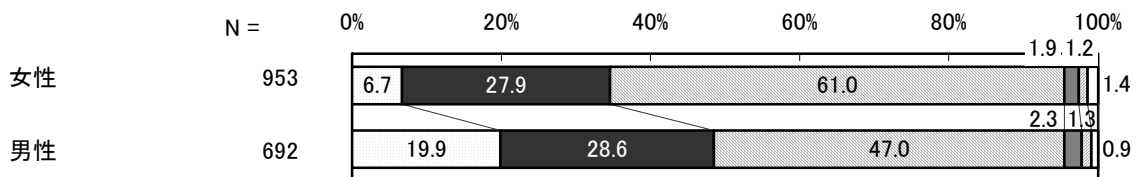
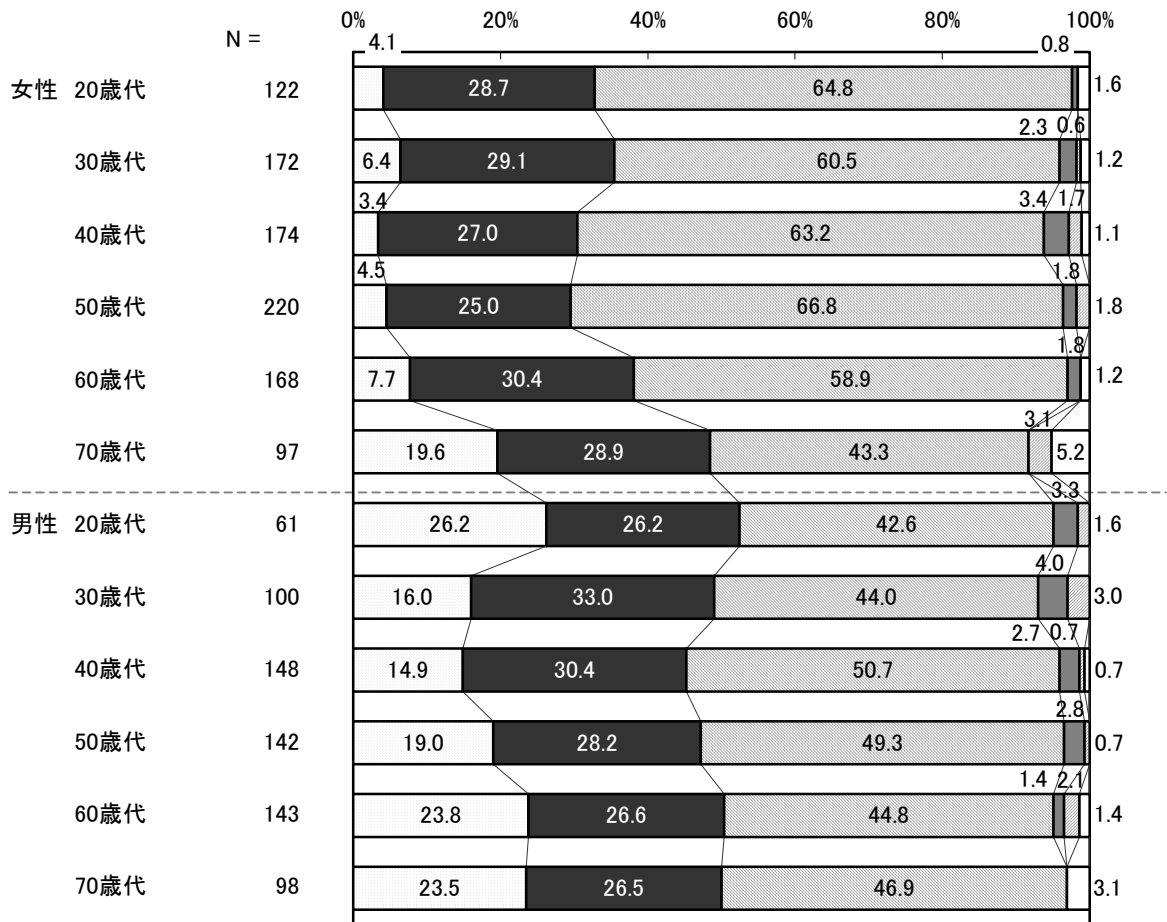


図 性・年代別でみる子どもの育て方

- 男の子は男の子らしく、女の子は女の子らしく育てたほうがよい
- ある程度は、男の子は男の子らしく、女の子は女の子らしく育てたほうがよい
- ▨ 男の子らしく女の子らしくというより、一人ひとりの個性を尊重して育てたほうがよい
- その他
- わからない
- 無回答



問4 あなたは、男性がより育児に参加していくために必要だと思うことは何ですか。
(〇は2つまで)

男性が育児に参加するために必要だと思うことについては、「男性自身が育児に取り組む意識をもつこと」の割合が最も高く48.7%となっており、次いで「家族の間で育児について十分に話し合うこと」の割合が28.8%、「男性の育児参加を妨げるような社会通念が変わること」の割合が27.0%となっています。

性別で見ると、男性に比べ女性で「男性自身が育児に取り組む意識をもつこと」の割合が高くなっています。また、女性に比べ男性で「男性にとって育児休業制度が利用しやすくなること」、「労働時間の短縮や在宅勤務、フレックスタイムの導入などがすすむこと」の割合が高くなっています。

性・年代別で見ると、女性の70歳代で「家族の間で育児について十分に話し合うこと」の割合が高くなっています。また、男性の20歳代、30歳代で「労働時間の短縮や在宅勤務、フレックスタイムの導入などがすすむこと」の割合が高く、70歳代で「家族の間で育児について十分に話し合うこと」の割合が高くなっています。

図 性別でみる男性が育児に参加するために必要だと思うこと

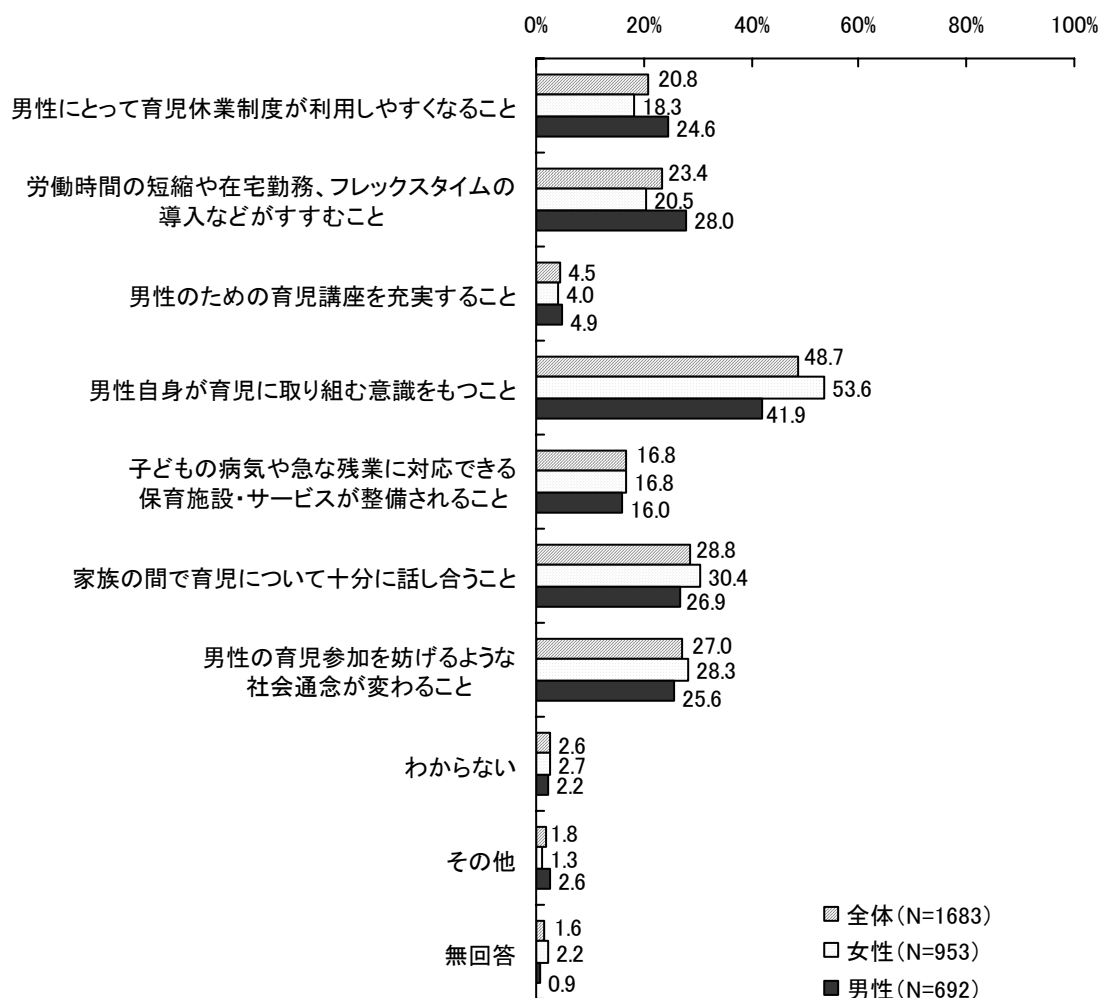
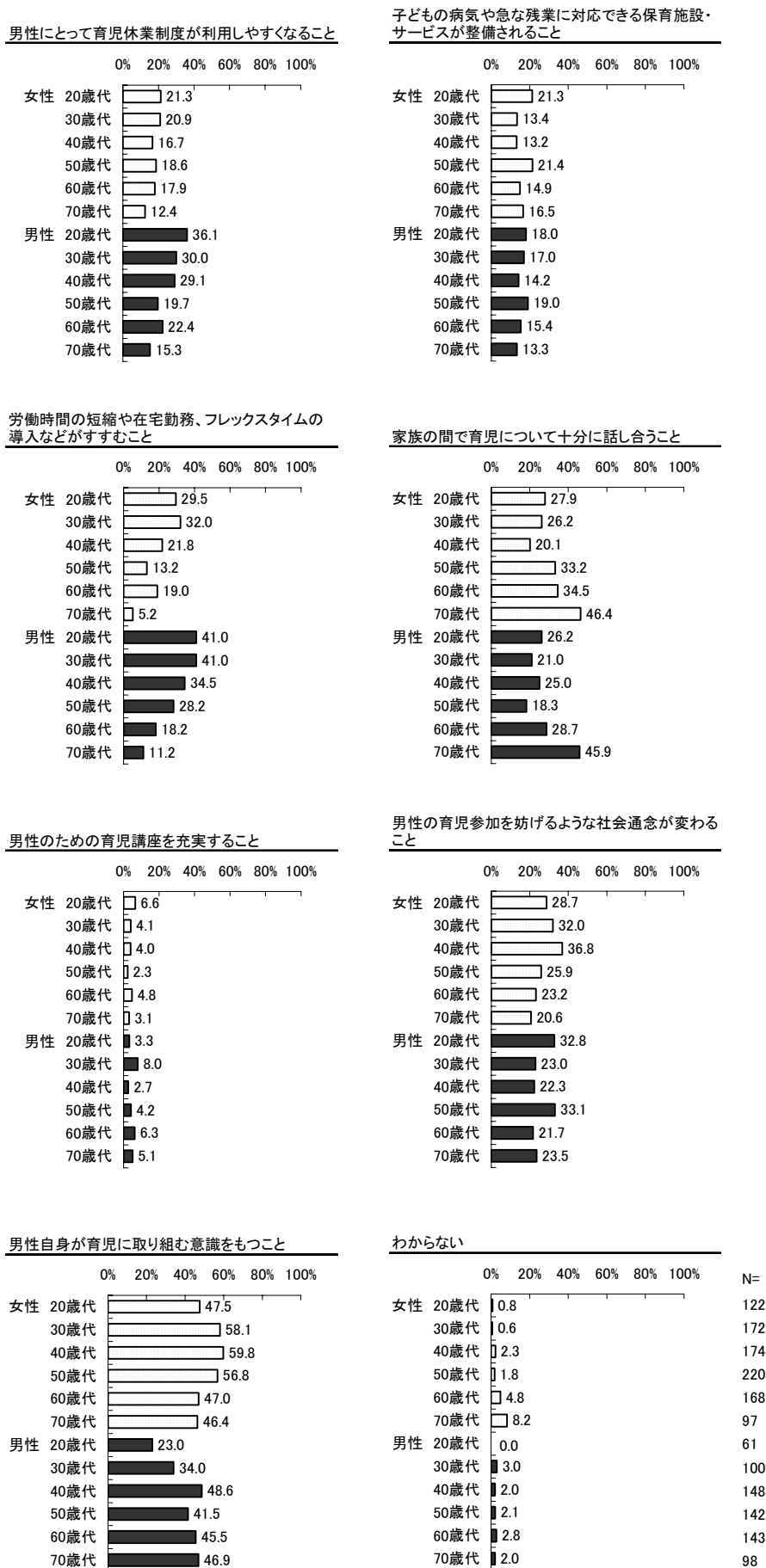


図 性・年代別でみる男性が育児に参加するために必要だと思うこと



N=

122

172

174

220

168

97

61

100

148

142

143

98

問5 あなたは、男女平等の意識を育てるために、学校を中心とした教育の場ではどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。(〇は2つまで)

男女平等の意識を育てるために教育の場で力を入れるべき内容については、「生活指導や進路指導において、男女の区別なく能力を生かせるように配慮する」の割合が最も高く 54.8%となっており、次いで「男女ともに、家事や育児、介護などについて学習する時間を設ける」の割合が 50.3%、「性に対する正しい知識や性の尊厳、母性保護の重要性についての学習を推進する」の割合が 18.6%となっています。

性別で見ると、男性に比べ女性で「男女ともに、家事や育児、介護などについて学習する時間を設ける」の割合が高くなっています。

性・年代別で見ると、女性の20歳代から50歳代で「男女ともに、家事や育児、介護などについて学習する時間を設ける」の割合が高くなっています。また、男性の40歳代で「生活指導や進路指導において、男女の区別なく能力を生かせるように配慮する」の割合が低くなっています。

図 性別でみる男女平等の意識を育てるために教育の場で力を入れるべき内容

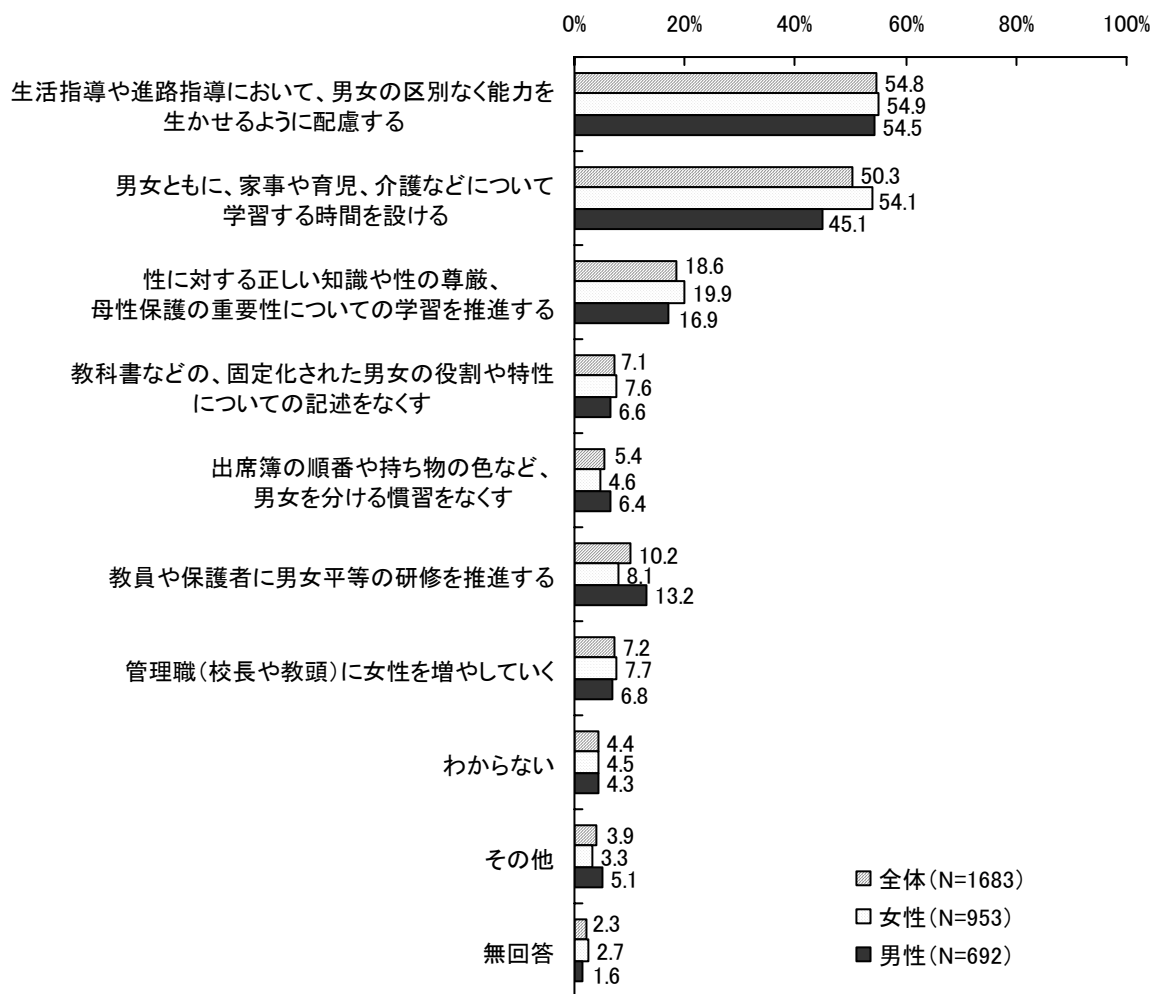
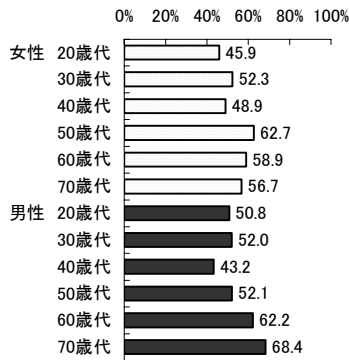
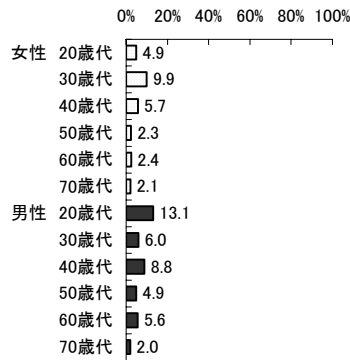


図 性・年代別でみる男女平等の意識を育てるために教育の場で力を入れるべき内容

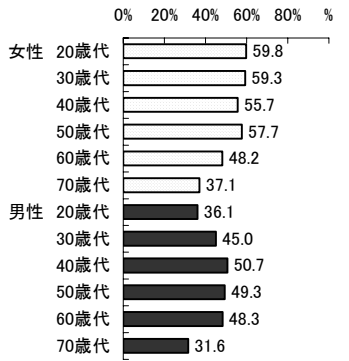
生活指導や進路指導において、男女の区別なく能力を生かせるように配慮する



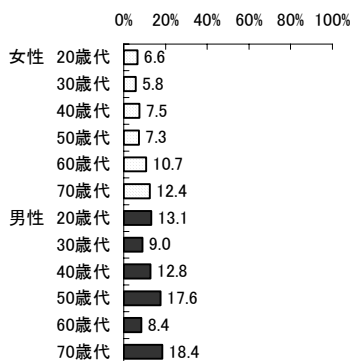
出席簿の順番や持ち物の色など、男女を分ける慣習をなくす



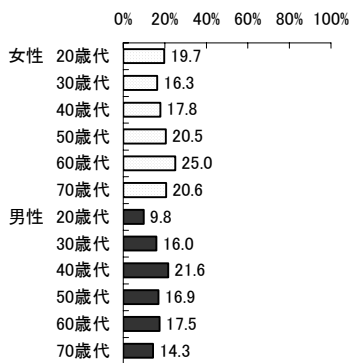
男女ともに、家事や育児、介護などについて学習する時間を設ける



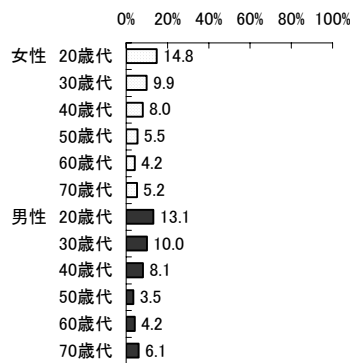
教員や保護者に男女平等の研修を推進する



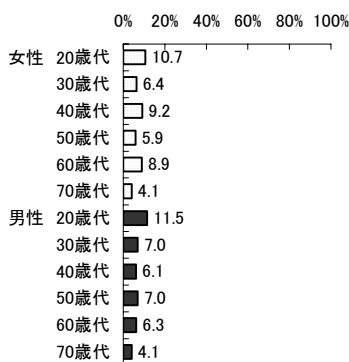
性に対する正しい知識や性の尊厳、母性保護の重要性についての学習を推進する



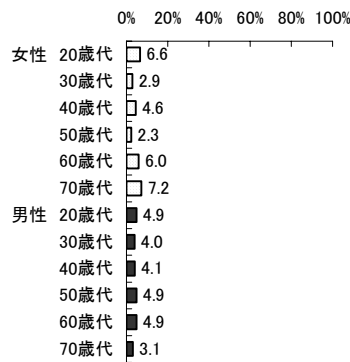
管理職(校長や教頭)に女性を増やしていく



教科書などの、固定化された男女の役割や特性についての記述をなくす



わからない



N=

122
172
174
220
168
97
61
100
148
142
143
98

(2) ワーク・ライフ・バランスについて

問6 あなたは、【ワーク・ライフ・バランス】について、知っていましたか。

ワーク・ライフ・バランスの認知状況については、「まったく知らなかった」の割合が最も高く60.1%となっており、次いで「ことばは、聞いたことがあった」の割合が25.0%、「ことばの内容を理解していた」の割合が12.2%となっています。

性別でみると、男性に比べ女性で「まったく知らなかった」の割合が高くなっています。また、女性に比べ男性で「ことばは、聞いたことがあった」の割合が高くなっています。

性・年代別でみると、女性の30歳代で「まったく知らなかった」の割合が高くなっています。また、男性の30歳代で「ことばの内容を理解していた」の割合が高くなっています。

図 性別でみるワーク・ライフ・バランスの認知状況

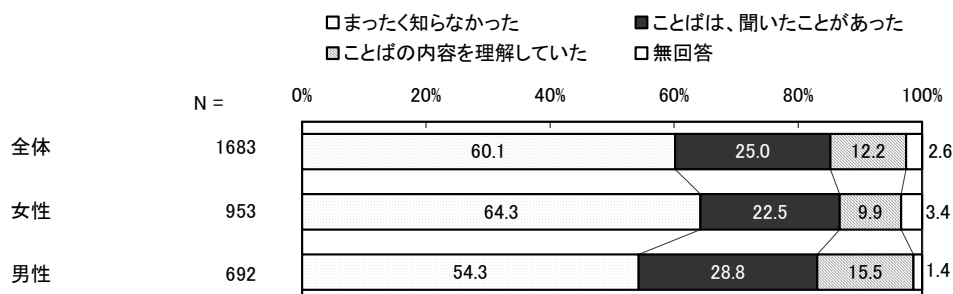
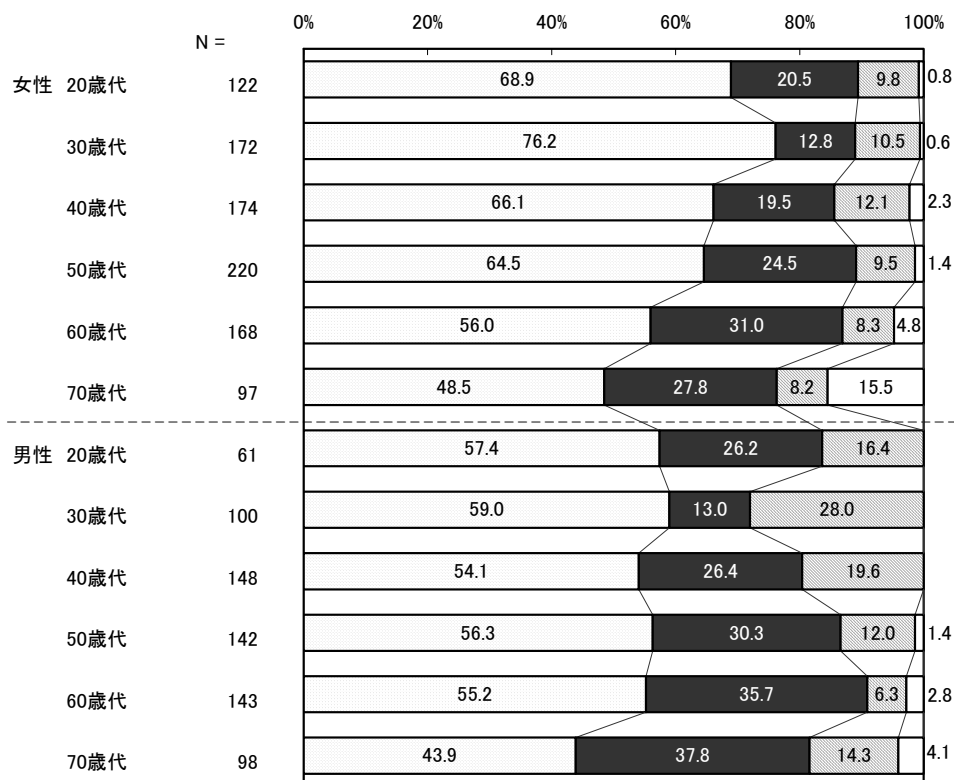


図 性・年代別でみるワーク・ライフ・バランスの認知状況



問7 生活の中での、仕事・家事（育児）・プライベートな時間（趣味など）の優先度について、あなたの【希望】の優先度と、【現実】としての優先度をお答えください。（【希望】と【現実】それぞれ1つに○）

※仕事についていない方は、家事とプライベートの関係についてお答えください。

【希望】

仕事・家事・プライベートな時間の希望の優先度については、「仕事・家事・プライベートを両立」の割合が最も高く 39.7%となっており、次いで「家事とプライベート優先」の割合が 16.2%、「プライベートな時間優先」の割合が 12.7%となっています。

性別でみると、男性に比べ女性で「家事とプライベート優先」の割合が高くなっています。また、女性に比べ男性で「仕事とプライベート優先」の割合が高くなっています。

性・年代別でみると、他の年代に比べ女性の 30 歳代、60 歳代で「家事とプライベート優先」の割合が高く、60 歳代以上で「仕事・家事・プライベートを両立」の割合が低くなっています。また、他の年代に比べ男性の 60 歳代以上で「仕事と家事優先」の割合が高く、「仕事・家事・プライベートを両立」の割合が低くなっています。

図 性別でみる仕事・家事・プライベートな時間の希望の優先度

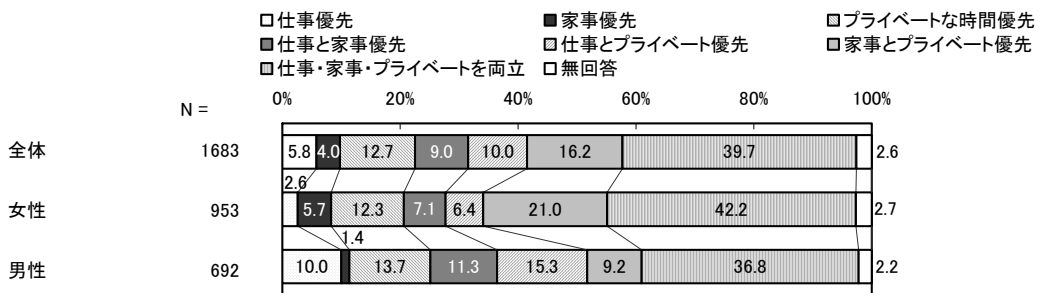
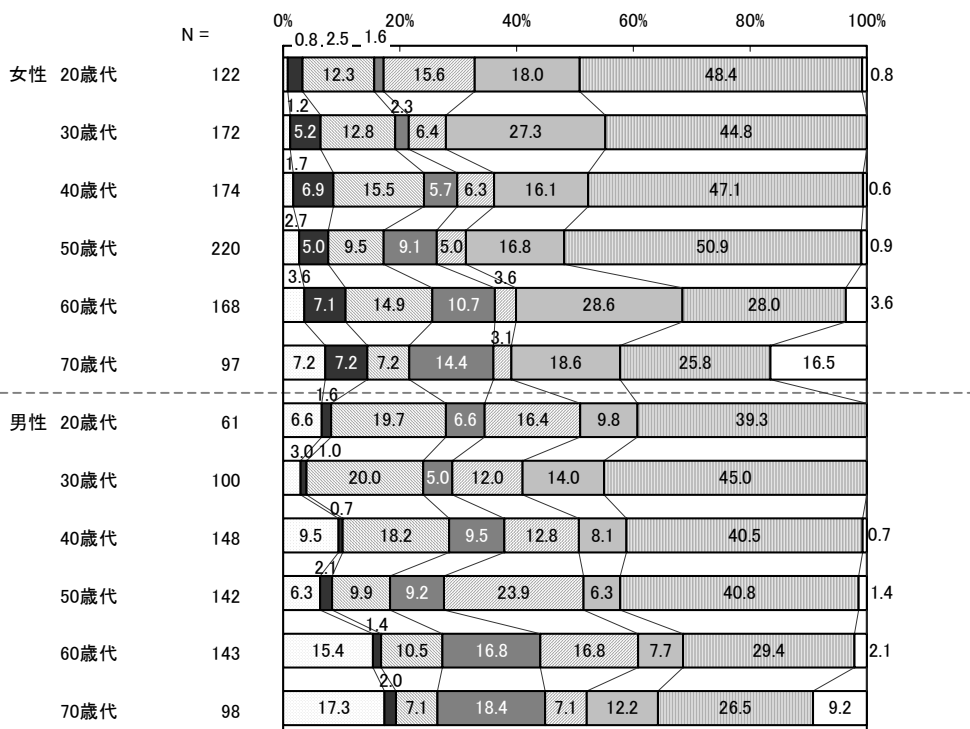


図 性・年代別でみる仕事・家事・プライベートな時間の希望の優先度



【現実】

仕事・家事・プライベートな時間の現実の優先度については、「仕事優先」の割合が最も高く35.3%となっており、次いで「仕事と家事優先」の割合が20.0%、「家事優先」の割合が16.0%となっています。

性別でみると、男性に比べ女性で「家事優先」、「仕事と家事優先」の割合が高くなっています。また、女性に比べ男性で「仕事優先」の割合が高くなっています。

性・年代別でみると、女性の20歳代で「仕事優先」の割合が高く、40歳代、50歳代で「仕事と家事優先」の割合が高くなっています。また、男性の40歳代以上で年齢が高くなるにつれて「仕事優先」の割合が低くなっています。

図 性別でみる仕事・家事・プライベートな時間の現実の優先度

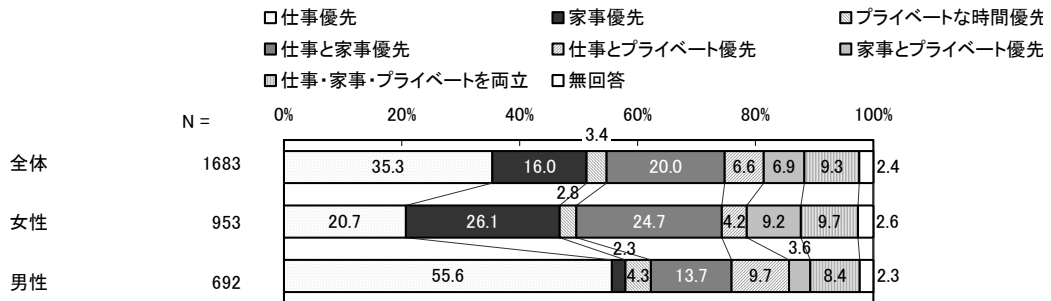
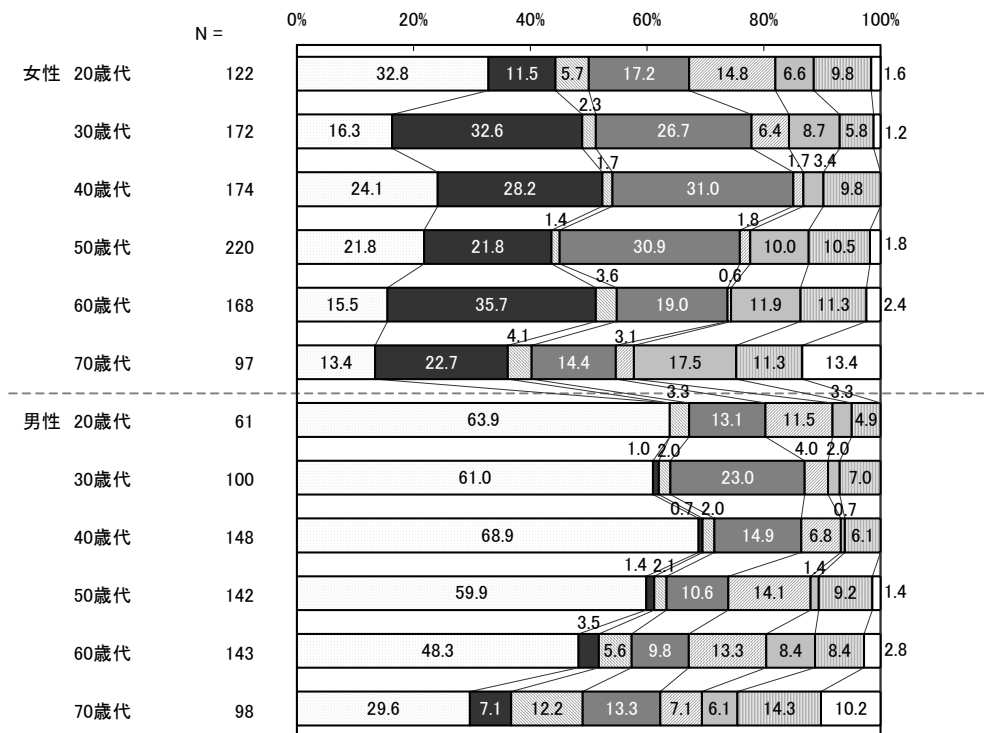


図 性・年代別でみる仕事・家事・プライベートな時間の現実の優先度



(3) 介護について

問8 あなたは、からだが不自由になった場合、どうしてもらいたいですか。
(1つに○)

からだの不自由になった場合の希望については、「老人ホームやケア付き住宅、療護施設など、介護職員のいる施設に入りたい」の割合が51.9%、「家庭で介護してもらいたい」の割合が42.3%となっています。

また、平成13年度調査結果と比較すると、「老人ホームやケア付き住宅、療護施設など、介護職員のいる施設に入りたい」の割合が高くなっています。

性別で見ると、男性に比べ女性で「老人ホームやケア付き住宅、療護施設など、介護職員のいる施設に入りたい」の割合が高くなっています。また、女性に比べ男性で「家庭で介護してもらいたい」の割合が高くなっています。

性・年代別で見ると、女性の40歳代から60歳代で「家族で介護してもらいたい」の割合が低くなっています。また、男性の60歳代以上で「家庭で介護してもらいたい」の割合が高くなっています。

図 からだの不自由になった場合の希望

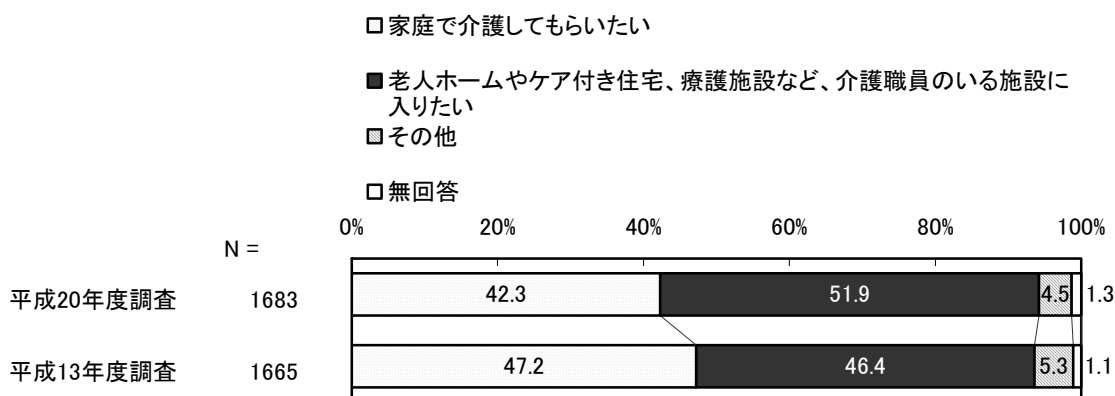


図 性別でみるからだの不自由になった場合の希望

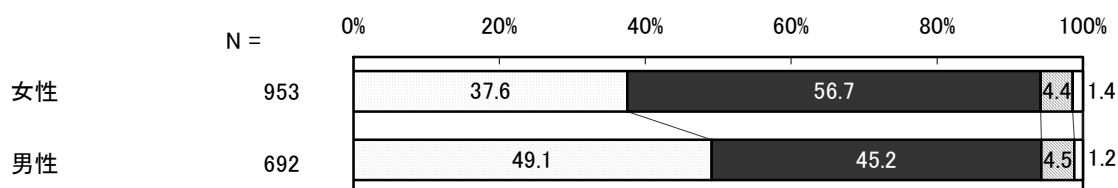
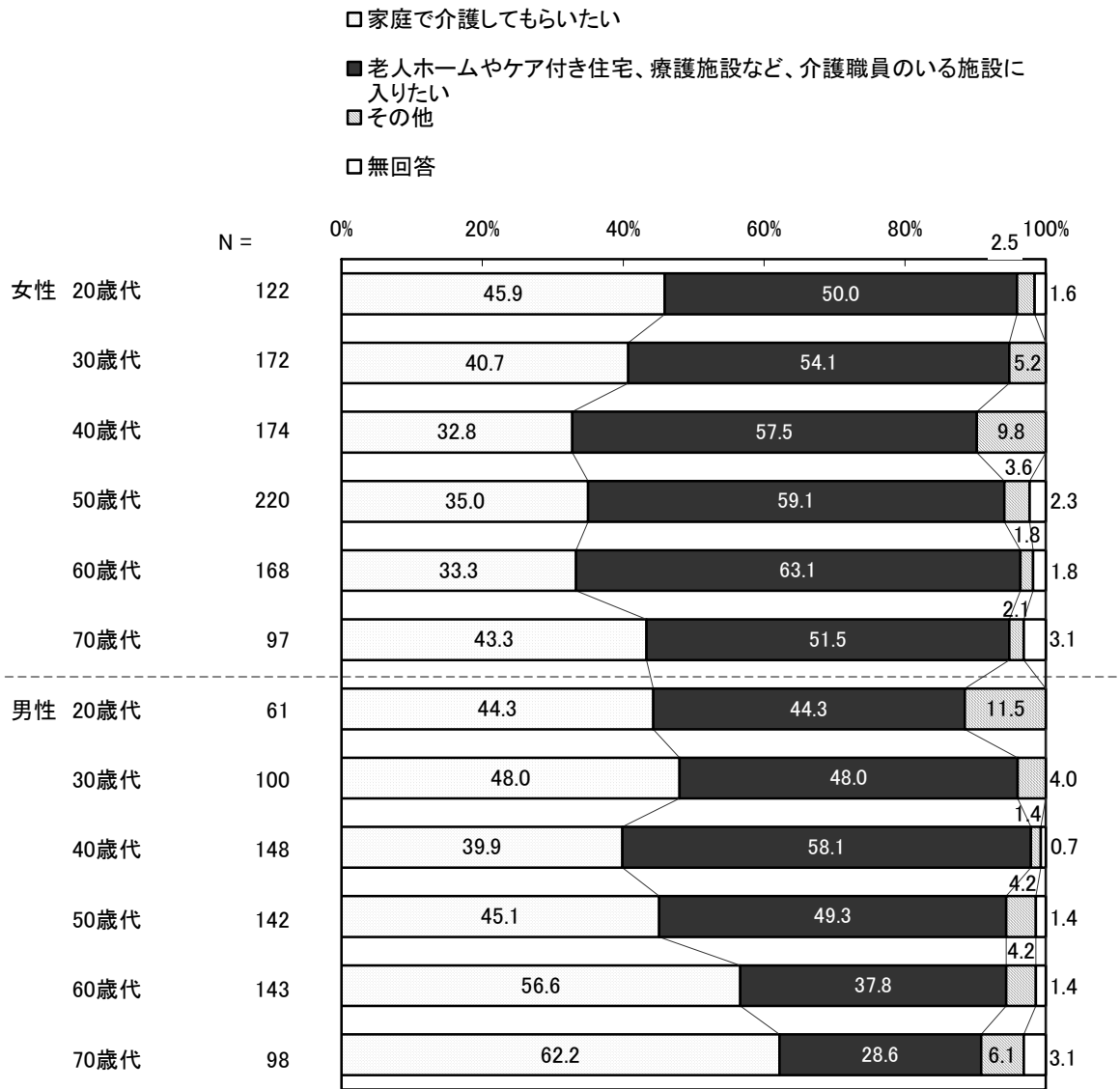


図 性・年代別でみるからだが不自由になった場合の希望



**問9 問8で「1. 家庭で介護してもらいたい」と答えた方におうかがいします。
現状にかかわらず、あなたは誰に介護してもらいたいですか。(1つに○)**

家族の誰に介護してもらいたいかについては、「妻」の割合が最も高く 39.5%となっており、次いで「夫」の割合が24.9%、「娘」の割合が12.8%となっています。

また、平成13年度調査結果と比較すると、「夫」の割合が高く、「妻」の割合が低くなっています。

性別で見ると、男性に比べ女性で「娘」の割合が高くなっています。また、男性で「妻」の割合が約8割を占めています。

性・年代別で見ると、女性の70歳代で「娘」、「介護ヘルパーや介護ボランティア」の割合が高くなっています。

図 家族の誰に介護してもらいたいか

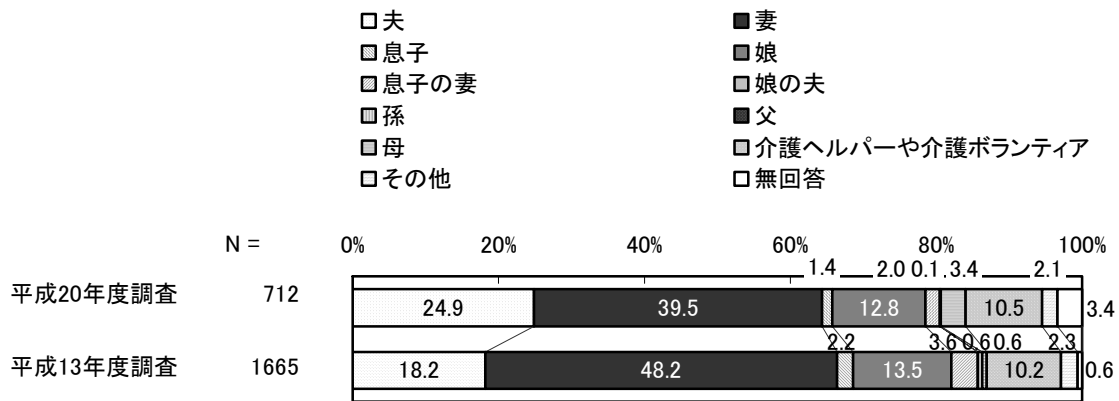


図 性別でみる家族の誰に介護してもらいたいか

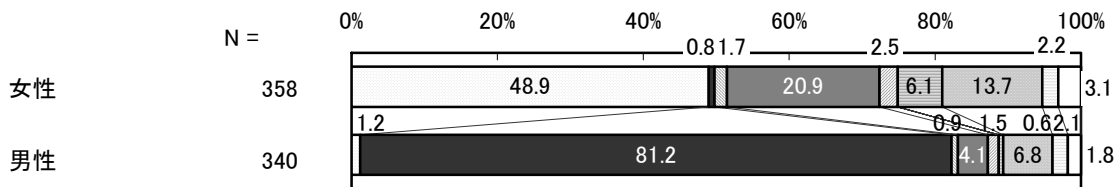
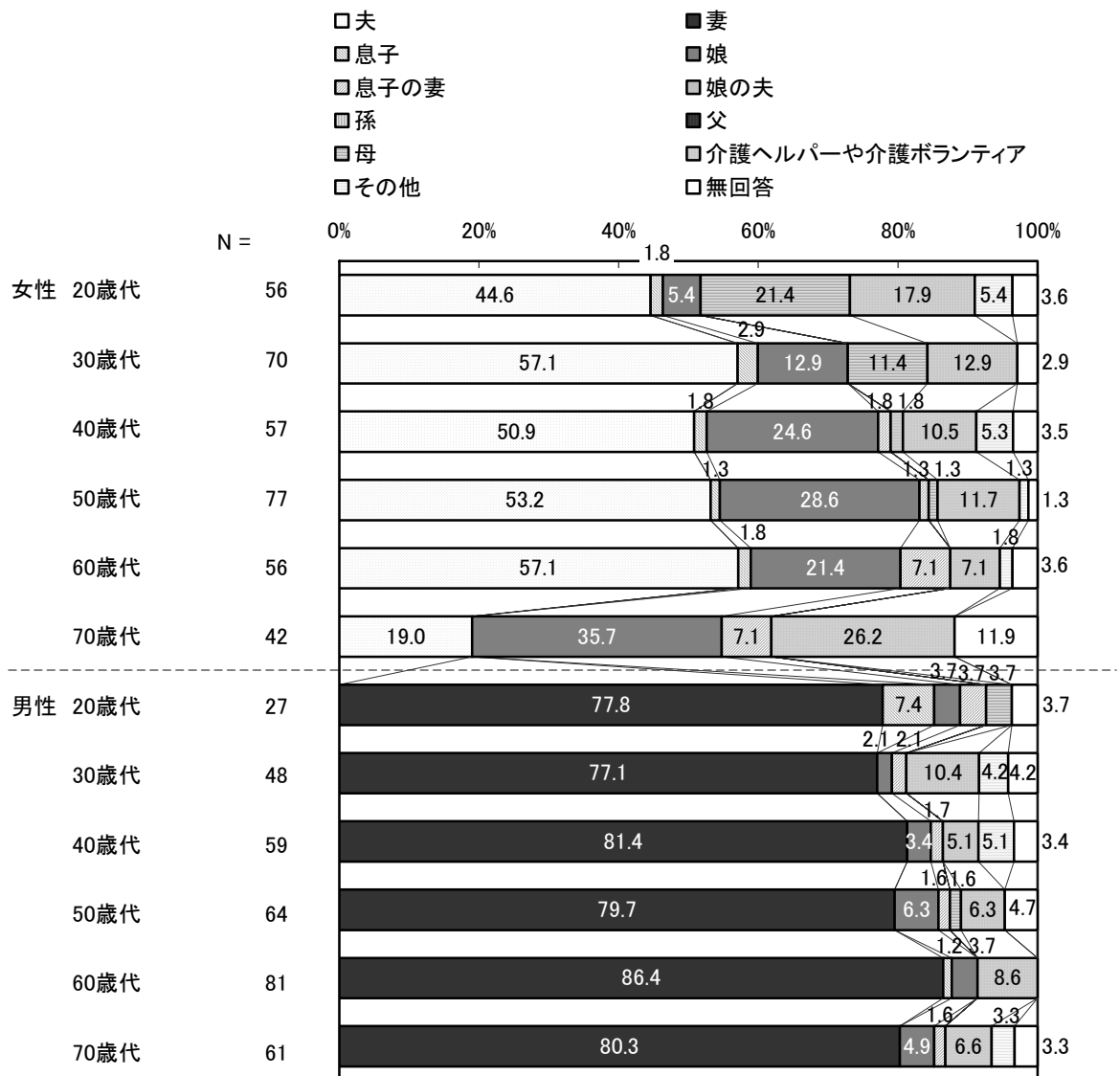


図 性・年代別でみる家族の誰に介護してもらいたいのか



(4) ドメスティック・バイオレンスについて

問10 あなたは、ドメスティック・バイオレンス（配偶者や親しい異性（恋人など）からの暴力）を受けた経験がありますか。（1つに○）

ドメスティック・バイオレンスの経験については、「過去に暴力を受けたことがある」「現在も暴力を受けることがある」を合わせたドメスティック・バイオレンスを受けた経験のある人の割合が10.5%、「暴力を受けたことはない」の割合が87.5%となっています。

また、平成13年度調査結果と比較すると、大きな差異はみられません。

性別で見ると、男性に比べ女性でドメスティック・バイオレンスを受けた経験のある人の割合が高くなっています。

性・年代別で見ると、他の年代に比べ女性の40歳代でドメスティック・バイオレンスを受けた経験のある人の割合が高くなっています。

図 ドメスティック・バイオレンスの経験

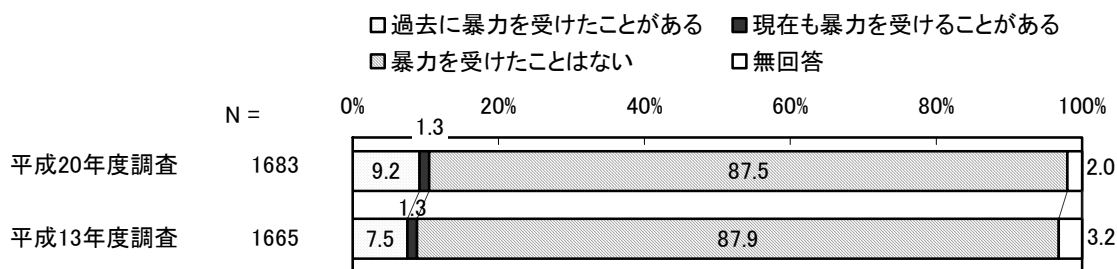


図 性別でみるドメスティック・バイオレンスの経験

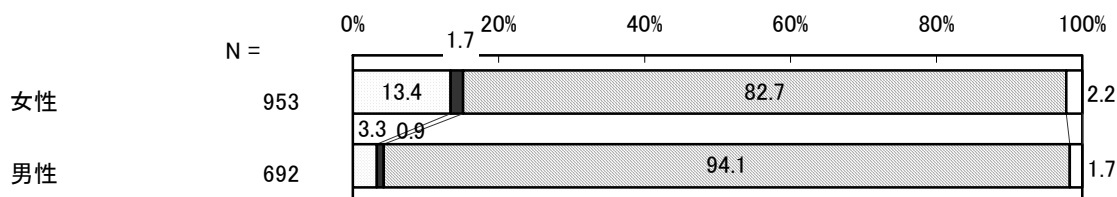


図 性・年代別でみるドメスティック・バイオレンスの経験

